

AMASHIN REPORT

# あましんレポート

尼崎信用金庫  
ミニディスクロージャー誌2022

地域のみなさまと  
ともに成長、ともに未来へ。



尼崎信用金庫  
AMASHIN

SDGs

〈あましん〉の  
取組みとSDGs

当金庫は、創業以来「地域社会への貢献」を経営の基本方針に掲げ、地域経済の活性化と持続的な発展、魅力ある地域社会づくり、環境保全の持続的な取組みなど、地域社会の発展を常に考えた事業活動に取り組んでいます。



## あましん グリーンプレミアム

「あましんグリーンプレミアム」は、環境改善に寄与する地域の皆さまの優れた技術や製品・工法、取組みやアイデアにスポットをあて表彰する制度で、新技術の開発や環境文化の創造につながることを願い、2011年に創設しました。

第11回「あましんグリーンプレミアム」では、2021年6月1日から8月20日までの間に環境事業部門・環境活動部門・環境アイデア部門の3部門で137先から138案件の応募をいただきました。

1次・2次の書類選考とプレゼンテーションによる最終選考の結果、最優秀賞には塚口商店街振興組合様の「急速冷凍機で実現する食材ロスの減少と地域住民の課題解決」が選ばれました。



## あましん 緑のプロジェクト

当金庫は、地元企業として環境保全活動に積極的に取り組むため〈あましん緑のプロジェクト〉を立ち上げ、尼崎市沿岸の国道43号線以南の臨海地域に緑豊かな環境をつくり、人と自然の共生をめざす兵庫県の「尼崎21世紀のもりづくり」に参画しています。

### ●あましん植樹祭を開催

2021年10月9日、尼崎の森中央緑地において「あましん植樹祭」を開催しました。今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、日ごろから森づくりでご協力いただいているアマフォレストの会をはじめ、尼崎の森中央緑地パークセンターの皆さんと当金庫の役職員約800名で植樹活動を行いました。当日は、1,500本の苗木を植樹。これまで10回の植樹祭を開催し、地域の皆さまと共に植樹した苗木は合計21,500本となりました。植樹活動は今回が最後となりましたが、除草・間伐活動など森を育てる活動をこれからも継続して行ってまいります。



### 第25回信用金庫社会貢献賞「Face to Face賞」受賞

あましん緑のプロジェクトが、一般社団法人全国信用金庫協会の「第25回信用金庫社会貢献賞」において「Face to Face賞」を受賞しました。今回の選出は、地域の皆さまと当金庫役職員が〈10年かけて植樹し100年かけて森を育てる〉という大きな目標に向って環境保全に取り組む姿勢が高く評価されたものと考えております。

### — 「Face to Face賞」とは —

地域金融機関にふさわしい、地域社会に溶け込んだ、地域の方々との一体感を深めることに寄与した活動および地域金融機関の社会貢献活動として今後の取組みが期待され、奨励される活動に対して与えられるものです。

# 〈あましん〉の 取組みとSDGs



## 地域経済の活性化と 持続的発展



## 環境保全の 持続的な取組み



## 魅力ある地域社会 づくりへの貢献



## お取引先のSDGsへの 取組みをサポート

2021年12月15日、当金庫はお取引先のSDGsへの取組みをサポートするため、東京海上日動火災保険株式会社と「お取引先に対するSDGsの普及・促進に係る連携協定」を締結しました。今回の提携により、当金庫は東京海上日動の診断ツールを活用してお取引先のSDGsへの対応度を診断・可視化し、「SDGs宣言書」の作成を支援するほか、東京海上日動と当金庫の相互のツール・支援メニューを活用しながらお取引先のSDGsの目標達成に向けた伴走型支援を行います。



## ものづくりのまち 「あまがさき」を担う学生を支援

2021年11月26日、当金庫と尼信地域振興財団は尼崎市に寄付(5,000万円)を行いました。今回の寄付は、ものづくりのまち「あまがさき」における新技術の開発、技術の伝承に願いを含め、未来を担う学生の支援を目的に行ったものです。尼崎市では、寄付金で主に理工系学部在籍する大学生を対象に育英事業を創設されます。



## 次代を担う子どもたちに 総合百科事典を寄贈



2021年9月30日、当金庫は2020年度の「SDGs応援融資」取組みの一環として総合百科事典4セットの購入資金を西宮市産業文化局に寄付しました。当金庫では2019年10月に「あましんSDGs宣言」を表明し、SDGsの取組みを事業に活かしている、またはこれから活かそうとされる企業や個人事業者をご支援する商品として「SDGs応援融資」を取り扱っています。この商品では、SDGsの趣旨に賛同し、地域課題の解決に寄与されている組織、団体などへ寄付をすることとしています。西宮市では児童・学生が自ら調べ学ぶ力が身につけられるよう市内4カ所の図書館の蔵書として活用されています。



# 安定した収益力でさらなる信頼性向上をめざします。

金融サービスの提供を通じて、これからも地域経済の持続的発展に努めてまいります。

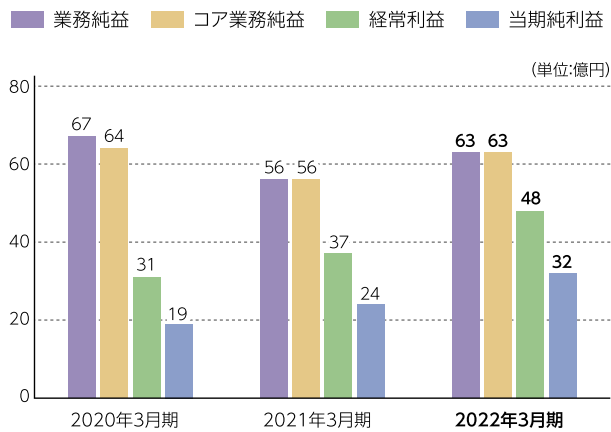
## 収益の推移

### 安定した収益力を堅持しています。

金融機関を取り巻く収益環境が厳しい中においても、業務純益63億円、経常利益48億円、当期純利益32億円を計上しました。

また、金融機関としての本来的な収益力を示すコア業務純益は、63億円と安定した収益基盤を維持しています。

当金庫は、これからも地域・お客さまの持続的発展や課題解決に貢献し、ともに成長できる好循環の実現に努めてまいります。

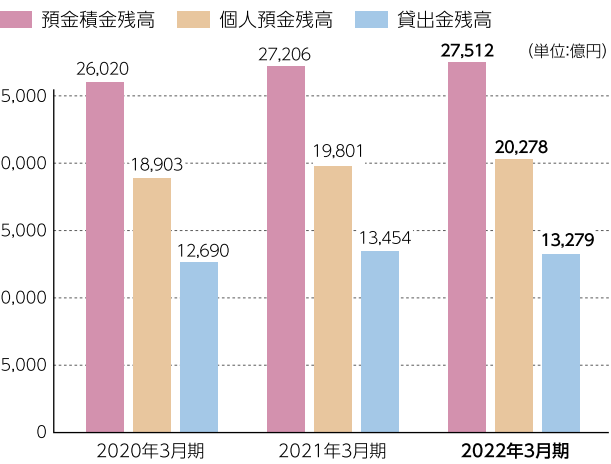


## 預金積金・個人預金・貸出金残高の推移

### 皆さまからのご預金を地域経済の活性化に役立てています。

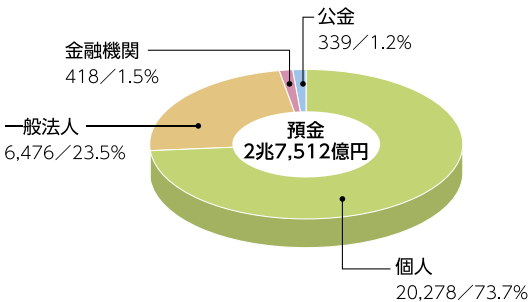
預金積金残高は、個人預金を中心に増加し、期末残高は2兆7,512億円となりました。総預金に占める個人預金の割合は73.7%となりました。

貸出金残高は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けておられる事業者の皆さまへのサポートを最優先に取り組みました。また、地域のお客さまの資金ニーズに迅速にお応えした結果、期末残高は1兆3,279億円となりました。



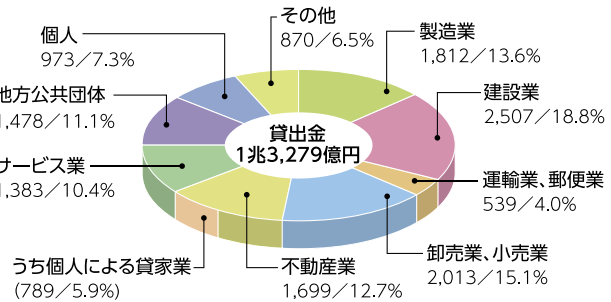
### 預金残高の内訳

(単位:億円)



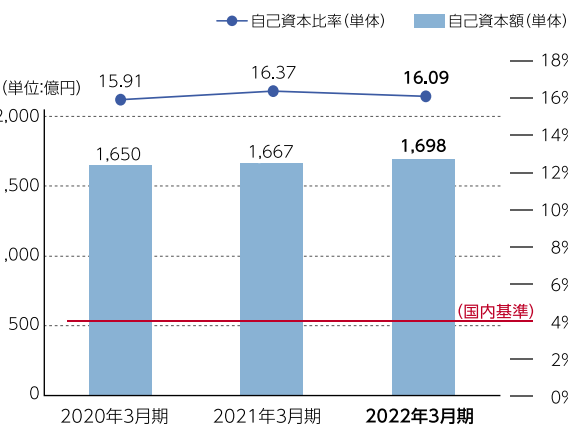
### 貸出金の業種別残高内訳

(単位:億円)



## 自己資本比率(国内基準・単体)

### 自己資本比率は16.09%と高い健全性を維持しています。

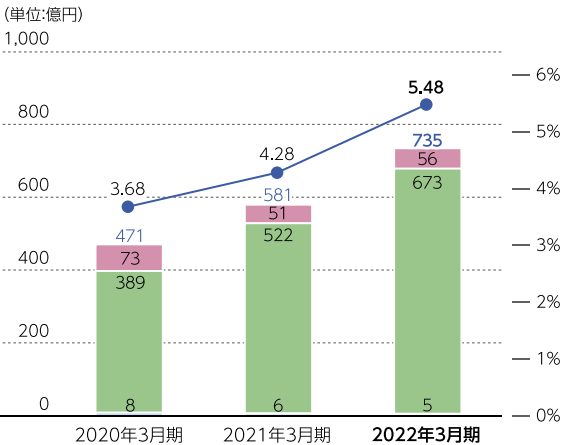


当金庫では、資本の有効活用の観点から、適切なリスク管理のもと、地域のお客さまに対する金融仲介機能の積極的な発揮に努めるとともに、有価証券運用では期待リターンの高い国際分散投資を着実に進め、経営の健全性維持と収益力の向上の両立をめざしています。

2021年度は、コロナ禍による経済への影響が長引く中で、お取引先の資金繰りを支援するため、リスクウエイトゼロの制度融資が増加したこと等から、貸出金全体のリスクは低下しました。一方、有価証券運用においては、収益確保に向けて外国証券や投資信託などのリスク資産の投資ウエイトを高めつつ、全体の運用ボリュームを増加させました。その結果、自己資本比率は16.09%と前期末比で幾分低下しましたが、引き続き国内基準(4%)を大きく上回り、高い健全性を保っています。

## 不良債権について

### 不良債権に対する備えは万全です。



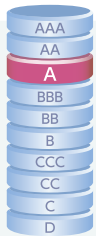
金融再生法開示債権における不良債権残高は、新型コロナウイルス感染拡大の影響など、将来の不確実性に備えるために保守的に判定し危険債権を積み増した結果、2021年3月末に比べて154億円増加しました。また、不良債権比率は5.48%と前期末より1.2ポイント上昇しました。これまで同様、不良債権に対する適正な引当を行い、厚い内部留保とあわせて万全の備えをしています。

- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権  
破産、会社更生、再生手続などの事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。
  - 危険債権  
債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権。
  - 要管理債権  
「三月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金。
- 不良債権比率

### 日本格付研究所(JCR)から「A」(シングルAフラット)を取得

2021年10月27日、格付機関である株式会社日本格付研究所(JCR)から、前年に引き続き、長期発行体格付として「A」(シングルAフラット)の格付を取得しました。

格付  
**A**  
債務履行の  
確実性は高い



※計数は2022年3月末現在 原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。

## 世界の貯金箱博物館

世界62カ国、24,000点を超える貯金箱を収蔵する世界最大級の貯金箱博物館。尼崎にひとつの“文化の器”をとの思いから、1984年4月にオープンして以来、地域の皆さまをはじめ県内外の貯金箱ファンの皆さまに愛されています。



## 尼信会館

2001年6月、創業80周年記念事業の一環としてオープンした尼信会館。館内の「城下町尼崎展」では、国の重要文化財「太刀銘守家」など歴史的に貴重な資料を展示。また「コインミュージアム」では、当金庫が保有する世界170カ国の金貨・銀貨等を展示しています。随時特別展を開催していますので、ぜひご来館ください。



HPからも いつでもどこでも見学が可能に ～「360° VIRTUAL TOUR」をHPに開設～



実際にその場に訪れたようなバーチャル体験ができる「360° VIRTUAL TOUR」を当金庫ホームページに開設しました。

世界の貯金箱博物館・尼信会館・尼信記念館で実際に展示している貯金箱や作品を360度3Dカメラで撮影した映像を通じ、実際に訪れたような感覚で鑑賞していただけます。皆さんでお楽しみいただけるコンテンツになっていますのでぜひご覧ください。



## 尼信記念館をリニューアル



当金庫発祥のシンボルとして保存している尼信記念館の改修工事が2022年3月末に完了し、4月6日に改修工事完成セレモニーを行いました。

尼信記念館は、1921年6月に当金庫の前身である「尼崎信用組合」が創業した際の本店事務所。尼崎の産業近代化の一翼を担った歴史的価値のあるこのレンガ造りの建造物は、1990年1月に「尼崎市都市美形成建築物」、2011年3月に「兵庫県景観形成重要建築物」の指定を受けています。

記念館は2階建てで、各階には石造りの暖炉が当時のまま残っています。また、2階には「創立総会決議録」の複製など創業時の資料を展示しており、当時の趣を肌で感じることができます。

4月9日、10日の2日間、改修工事完成を記念して一般公開を行い、200名を超える皆さまに見学いただきました。今後は地域の文化発信拠点として、ミニコンサートなどのイベント開催も検討してまいります。



## Facebookで 街の活性化に向けた情報発信

Facebookページでは、当金庫が取り組む「コンサルティング活動」「地域貢献活動」などをタイムリーに発信しています。

地域の中でつながりを広げ、まちの活性化と持続的な発展に向けて、地域のお客さまとくあしんのコミュニケーションツールとして活用しています。



<https://www.facebook.com/amagaskishinkin/>



尼崎信用金庫

AMASHIN